



50000-XLTB-KOSO CR-Z PRO SPEC. SUSPENSION

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ず携行して下さい。



警告

これらの指示に反した場合、死亡や重症および重大な物的損傷に繋がる危険性があります。

- ・本製品は、ホンダ CR-Z (ZF1・2) への装着を目的として開発された商品です。適合車種以外への装着は走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。
- ・本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験のない方のみでの組み付け作業はケガや事故をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。
- ・本製品の加工や分解は作動不良や破損の原因となる為、絶対に行わないでください。
- ・本製品は車高調整機構を備えており、+20~-40mmの車高調整が可能です(商品出荷時はSTDに対し-20mmの車高となる様に設定されています)。本製品の車高調整位置によっては、「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。その為、公道を走行する際は本書3Pの「保安基準に関する注意」を参考に車高調整を行い、必ず保安基準に適合した状態で走行を行ってください。
- ・初回取付け時および車高調整時は必ずロックナットを適正トルクで締付けを行ってください。ナットが緩み重大な事故に繋がる場合があります。



注意

これらの指示に反した場合、怪我および重大な物的損傷に繋がる危険性があります。

- ・誤った手順での作業は部品の脱落や破損の原因になります。本書内でホンダ純正部品の脱着指示があった場合は本田技研工業(株)発行のサービスマニュアルを参照し、正しく行ってください。
- ・経年劣化等によりサスペンションの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、整備を受けてください。
※本製品は分解可能な構造となっており、オーバーホールおよび減衰力仕様の変更が可能です。お近くの販売店にご相談もしくは弊社HPをご覧の上、下記までご連絡下さい。
- ・本製品の取付けにより車高が下がる場合、縁石や駐車場の車両止めおよび段差や凹凸路面の通過時は、車体・外装部品が接触・接地しないよう十分ご注意ください。

～製品保証について～

本書に記載されている事項を守らなかった場合、弊社では一切の責任を負いかねます。
詳しくは弊社HPの「製品保証について」をご覧ください。

商品についてご質問、ご不明な点等ございましたら下記にお問い合わせ下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課 【営業時間10:00~17:00 (土日・祝日除く)】

TEL: 048-462-3131

FAX: 048-462-3121

【仕様表】

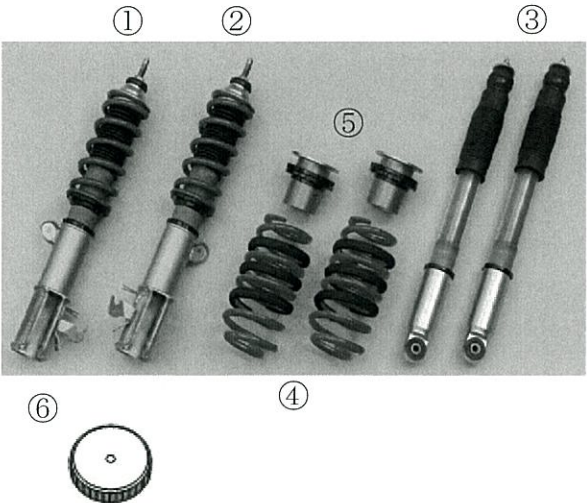
※車高は約20mm下がります。 車輛の装備、仕様により若干変わることがあります。

	減衰力 (スタンダード比) 0.3m/s 時 ; 伸び側 / 圧縮側	スプリングレート N/mm	適合車種 [型式]
フロント	238~342% / 73~ 84%	K=68.6 (K=20.0)	CR-Z [DAA-ZF1・2]
リヤ	189~273% / 134~157%	K=53.9 (K=32.0)	

↑ 最弱～最強の減衰力可変量 ↑ () 内は STD 値
(6MT車 STD比)

【部品表】

キット品番 50000-XLTB-K0S0



NO.	構成品番 品名	QTY
①	51610-XLTB-00S0	1
	DAMPER ASSY,R FR	
②	51620-XLTB-00S0	1
	DAMPER ASSY,L FR	
③	52610-XLTB-00S0	2
	DAMPER ASSY,RR	
④	52441-XLTB-0000	2
	SPRING,RR	
⑤	HIGHT ADJUSTER COMP	2
⑥	90000-XG8-0100 DIAL,D/F ADJUST	2

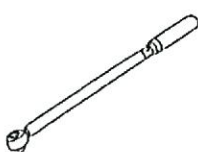
【必要工具】



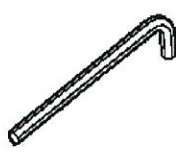
メガネレンチ
14, 17, 19mm



ソケットレンチ
10, 12, 14, 19mm



トルクレンチ



六角レンチ
5, 6mm



引掛けスパナ
(φ64~76および
φ89~98に対応する物)

保安基準に関する注意

本製品は一般公道での走行からサーキット等におけるスポーツ走行の使用を想定し、幅広い車高設定が可能です。

しかし、本製品を公道で使用する場合、「道路運送車両の保安基準(以下 保安基準)」に不適合な状態で走行すると違法となり罰せられます。公道を走行する際には、常に保安基準に適合した状態になるように車高を設定してください。

本製品の車高設定可能範囲内に不適合となる可能性のある設定位置が含まれるのは以下の基準です。

「最低地上高に関わる保安基準」

⇒最低地上高は全面90mm以上であること

「灯火類の取付位置に関わる保安基準」

⇒FR/RRフォグライト装着車はその発光部の下縁が地上から250mm以上であること

「緩衝装置の取り付け位置に関わる保安基準」

⇒サスペンションおよびハンドルの可動範囲内でホイールおよびタイヤがサスペンションや車体に干渉しないこと

⇒スプリングが遊んだ状態でないこと

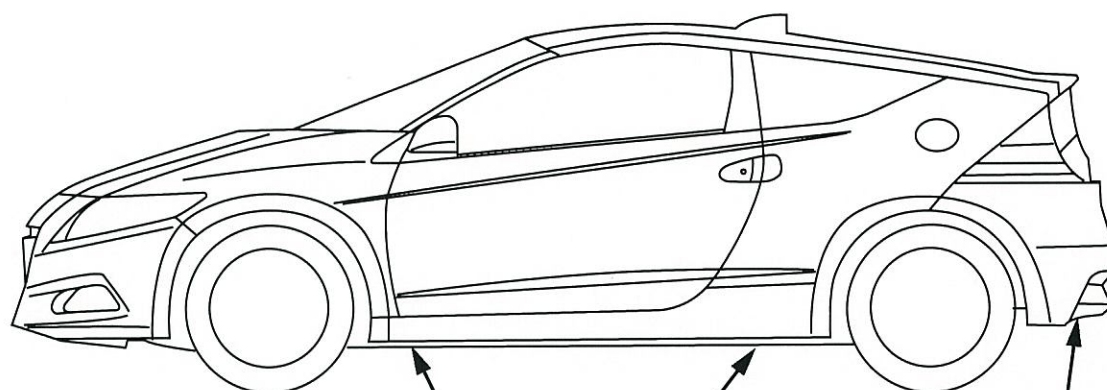
車高を調整し、公道を走行する際は上記を確認した上で運行してください。

※なお、Honda純正アクセサリ用品を含む車外品と併用した場合、上記以外の基準に抵触する可能性があります。その場合の法規適合性に関するお問い合わせについては当社では回答しかねます。予めご了承ください。

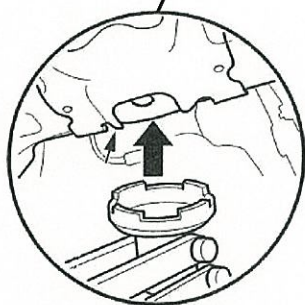
保安基準の詳細はお近くの陸運支局にお問い合わせの上、ご理解のもとご使用ください。

【取付準備】

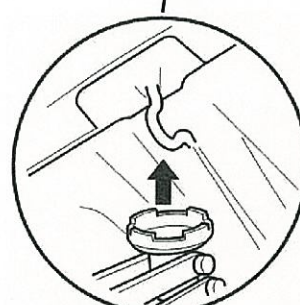
- ①各車輪のホイールナットを緩める。
- ②リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



リフトポイント



フロントジャッキアップポイント



リヤジャッキアップポイント

⚠ 注意

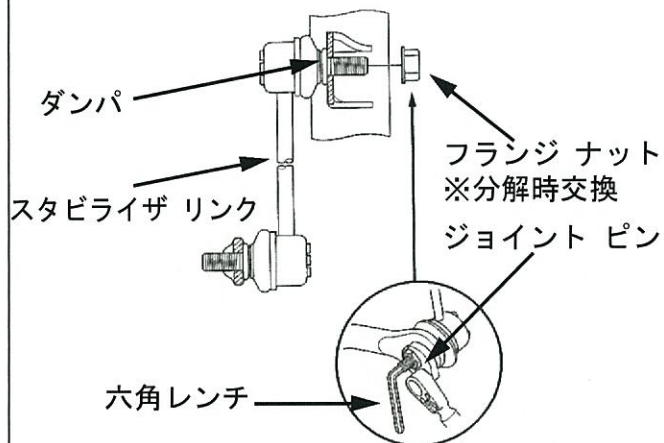
- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車輦の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。
- ・ リヤをジャッキアップする時は、ギヤをPポジションに入れること。

【I. フロント ダンパの車両への組み込み】

1. STDフロント ダンパの取外し

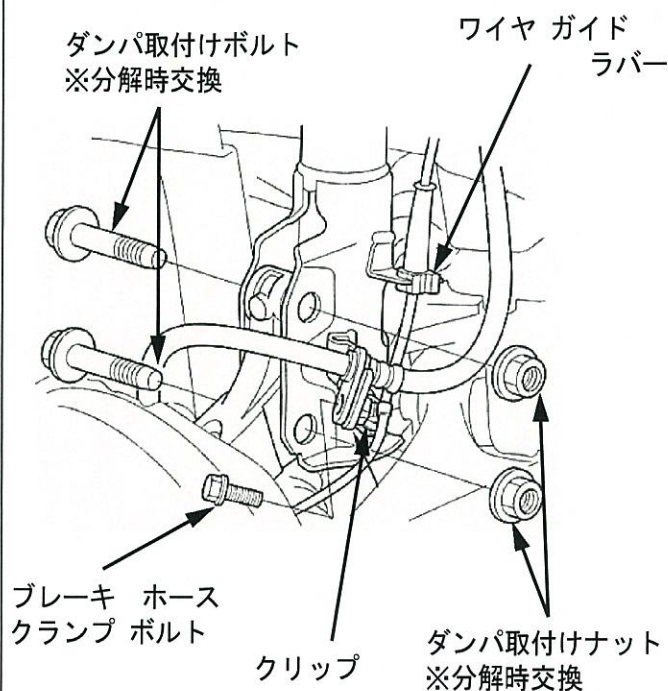
①フロント ホイールを取外す。

②スタビライザ リンクとダンパの接続を外す。
※ジョイント ピンを六角レンチで保持してフランジ ナットを緩める。

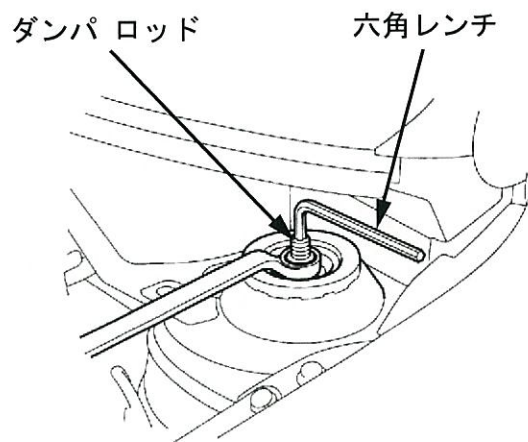


③ホイール センサのワイヤ ガイド ラバーとクリップをダンパから外し、ブレーキ ホース クランプ ボルトを取外す。

④ダンパ取付けボルトを外す。
※ナックルを外側へ強く引くと、ドライブシャフト インボード ジョイントのローラが抜けるので注意すること。

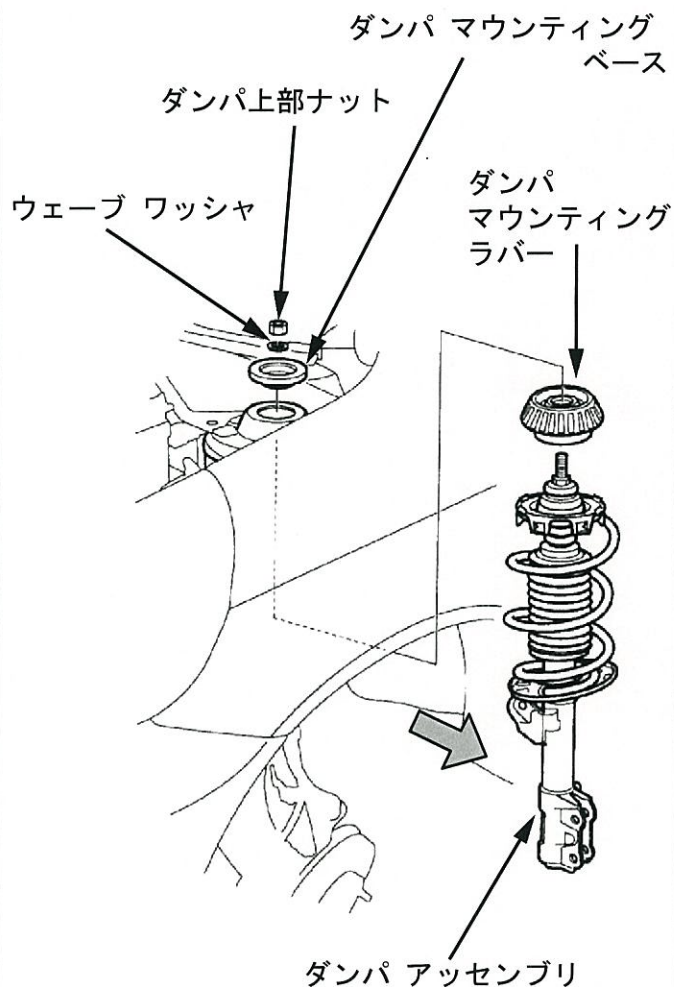


⑤ダンパ キャップを取外し、六角レンチでダンパ上部のダンパ ロッドを保持し、ナットを緩める。



⑥ダンパ上部ナットとウェーブ ワッシャを外し、ダンパ マウンティング ベースを取外す。

⑦ダンパ アセンブリを車体から取外し、ダンパ マウンティング ラバーを外す。



2. 無限フロント ダンパの取付け

※ダンパ アッセンブリの左右を確認してから取付けを始めること。

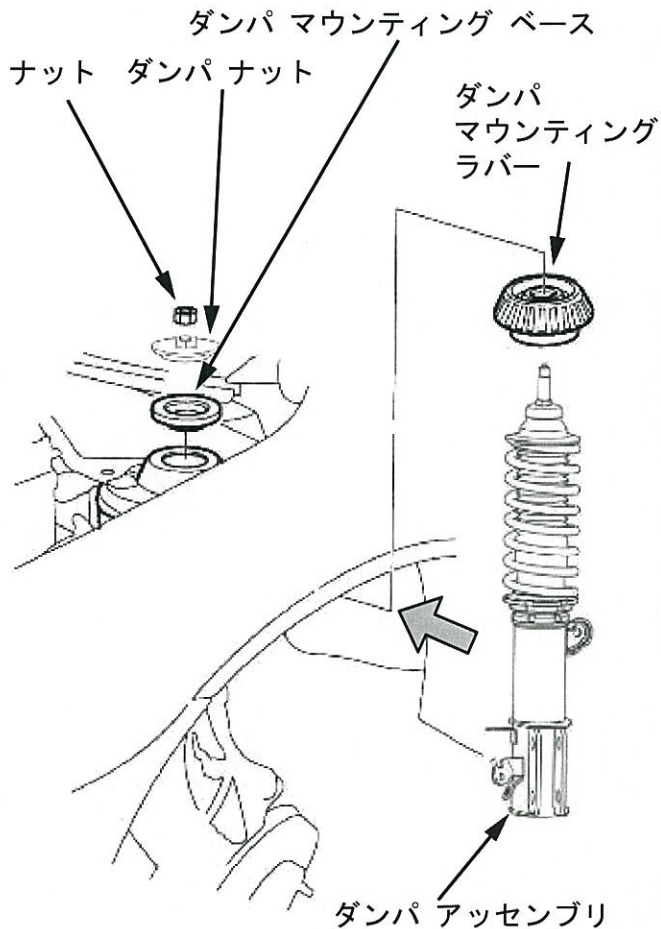
①ダンパ アッセンブリにダンパ マウンティング ラバーを取付け、車体とナックルの間にセットする。

②ロア アームの下にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンションを支える。

※ロア アームのボール ジョイント先端にジャッキをかけないこと。

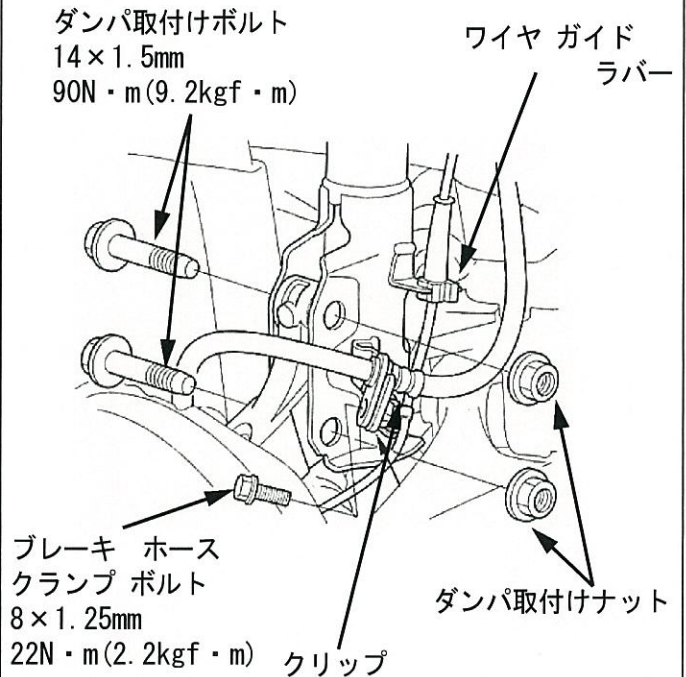
③ダンパ マウンティング ベース、付属のダンパ ナットをセットし、ダンパ上部を仮締めする。

※ダンパ ナットを規定トルクで締め付け後にナットを取付けること。



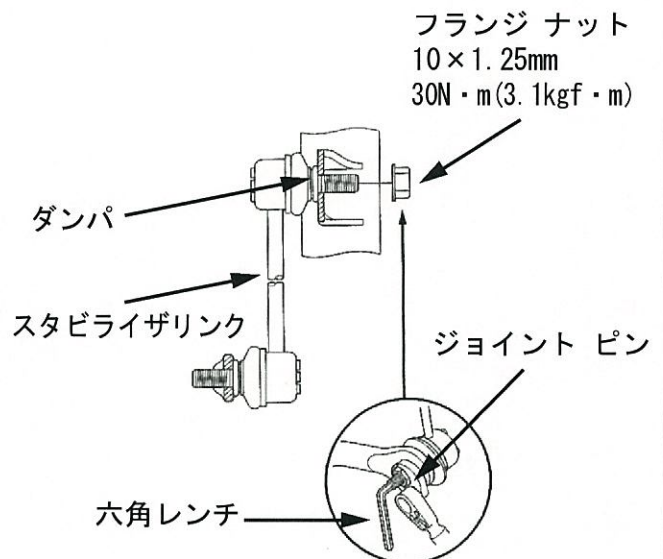
④ダンパ アッセンブリをナックルに取付け、ダンパ取付けボルトとダンパ取付けナットで仮締めする。

⑤ホイール センサのワイヤ ガイド ラバーとクリップをダンパへ取付け、ブレーキ ホース クランプ ボルトを規定のトルクで締め付ける。



⑥スタビライザ リンクとダンパを接続する。

※ジョイント ピンを六角レンチで保持してフランジ ナットを締め付ける。



- ⑦ジャッキでサスペンションを持上げ車重をかけ、
取付けボルト及びナットを規定のトルクで締付ける。
※ダンパ ナットを締付ける際は、ダンパ ロッド
をモンキースパナ等で保持して締付けること。

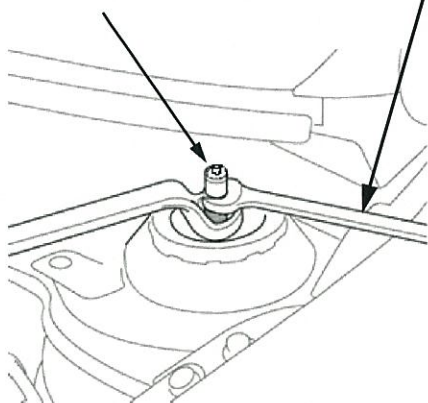
※ダンパ ロッドを保持する際は、工具で締付け
トルクに注意し、ネジ山を傷つけないよう注
意すること。

ダンパ上部取付けナット

12×1.25mm

29～34N・m(2.5～3.0kgf・m)

スパナ



- ⑧緩み防止の為、付属の12mmナットをダンパ上部に
取付け、ダブルナットで締付ける。

※締付けトルク 34～39N・m[3.5～4.0kgf・m]

- ⑨スプリングシート部およびブラケット部のロック
ナットを引掛けスパナを用いてロックする。

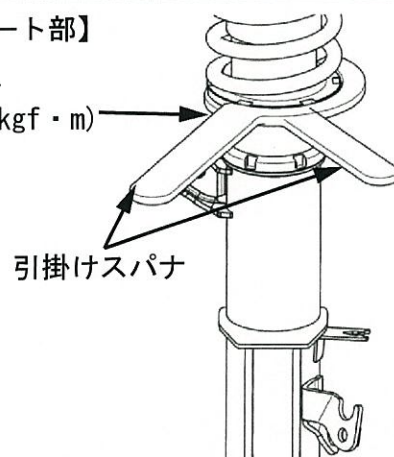
※締付けトルクを計測出来ない場合、スパナで
ナットを軽く締付け、その位置からスプリング
シート部のロック ナットを更に5mm、ブラケッ
ト部のロック ナットを7mm締付ける。

【スプリングシート部】

ロック ナット

58.8N・m(6.0kgf・m)

引掛けスパナ

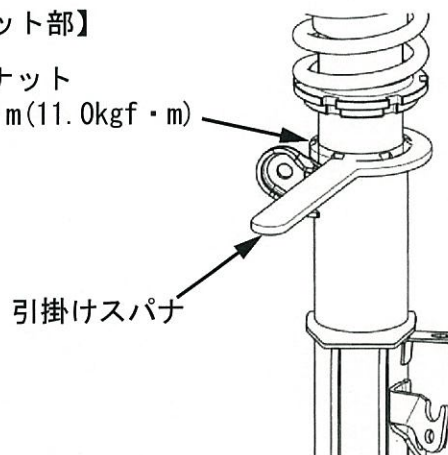


【ブラケット部】

ロック ナット

107.8N・m(11.0kgf・m)

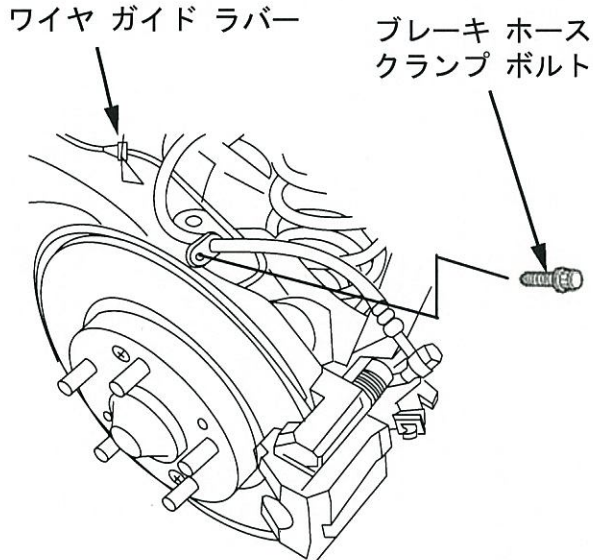
引掛けスパナ



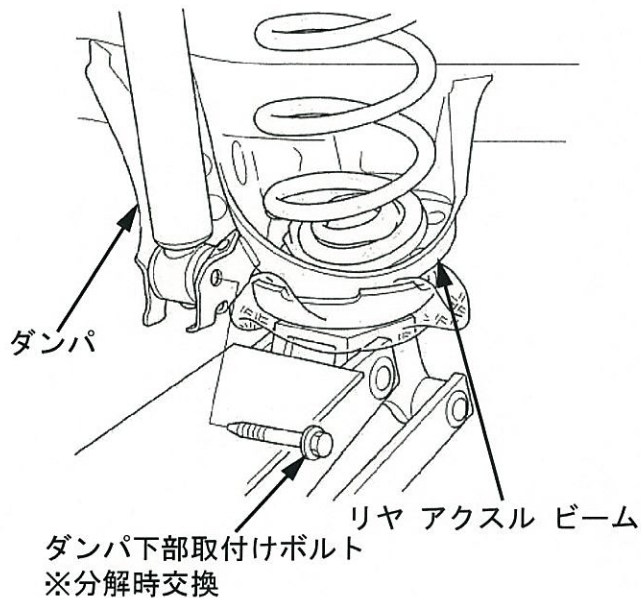
【I. リヤ ダンパの車両への組み込み】

1. STDリヤ ダンパ及びスプリングの取外し

- ①リヤ ホイールを取外す。
- ②ディスチャージ ヘッドライト装備車は、サービスマニュアルに従いヘッドライト レベリング センサとリヤ アクスル ビームの接続を外す。
- ③ホイール センサのワイヤ ガイド ラバーとブレーキ ホース クランプ ボルトを取外す。

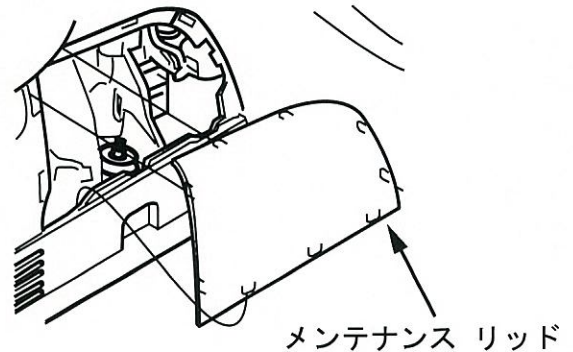


- ④リヤ アクスル ビームの下にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンションを支える。
- ⑤ダンパとリヤ アクスル ビームの接続を外し、ジャッキを下げてスプリングを車体から取外す。
※ホイール センサ コード及びブレーキ ホースの損傷を防ぐため、リヤ アクスル ビームを下げすぎないこと。

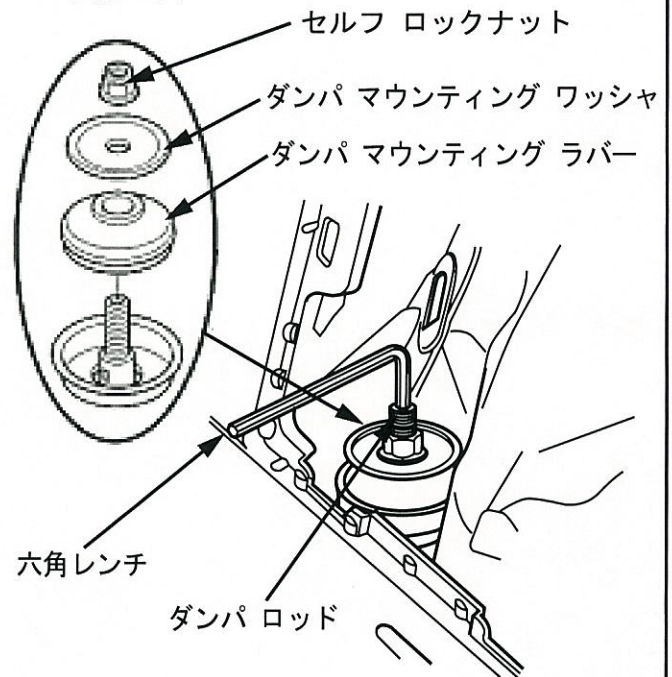


- ⑥スプリングからアップ マウンティング ラバーとロー マウンティング ラバーを取外す。

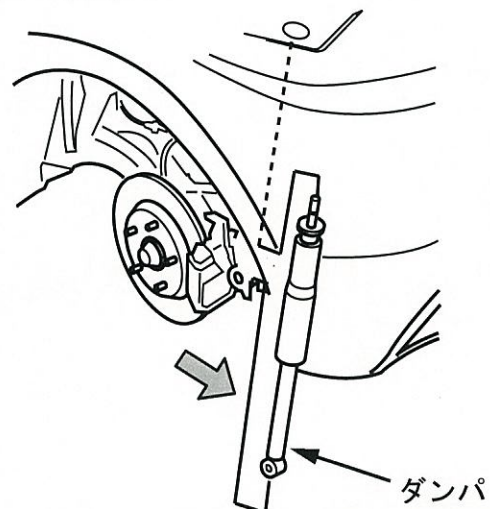
- ⑦室内のカーゴ サイド ライニングからダンパ メンテナンス リッドを取外す。



- ⑧ダンパ上部のセルフ ロックナット、ダンパ マウンティング ワッシャ及びダンパ マウンティング ラバーを取外す。
※六角レンチでダンパ ロッドを固定してナットを緩める。

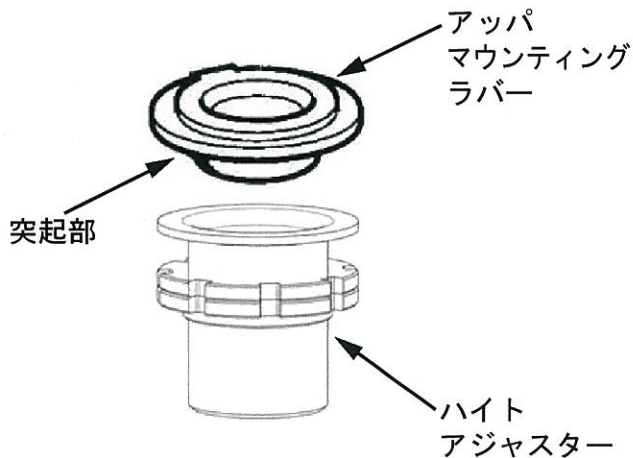


- ⑨ダンパを取外す。



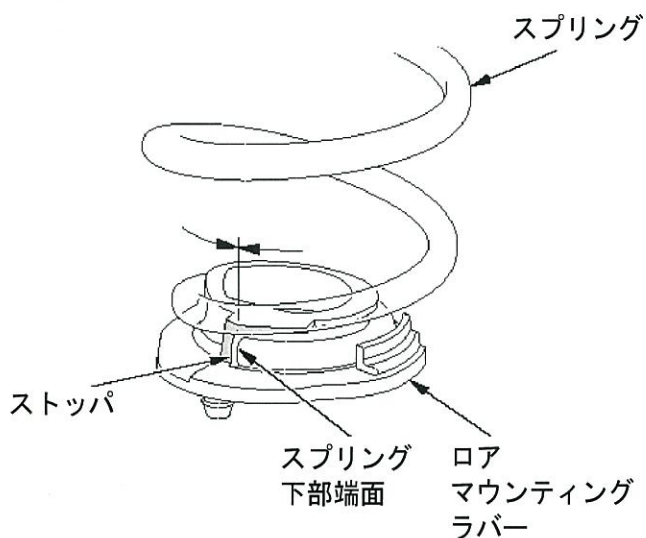
2. 無限リヤ ダンパ及びスプリングの取付け

- ① アップマウンティングラバーの突起部分をカットし、ハイトアジャスター内周部にはまる様に円錐状に加工する。



- ② スプリングにロア マウンティング ラバーを取付け、スプリング下部端面をロア マウンティング ラバーのストッパに突き当てる。

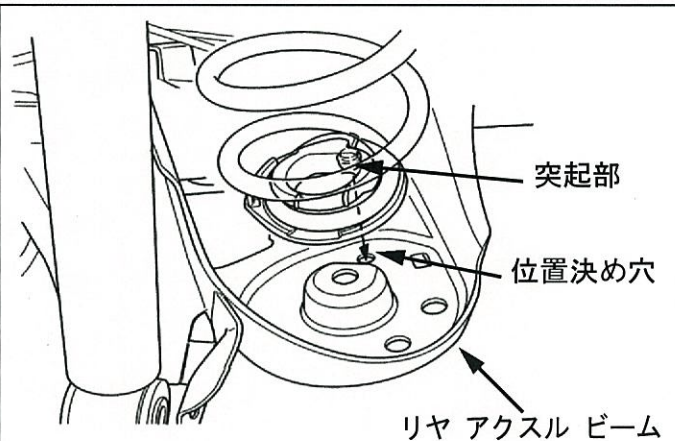
※スプリング1.5巻目にタッチアップ処理がされていますが、仕様上のものであり不具合ではありません。ご了承ください。



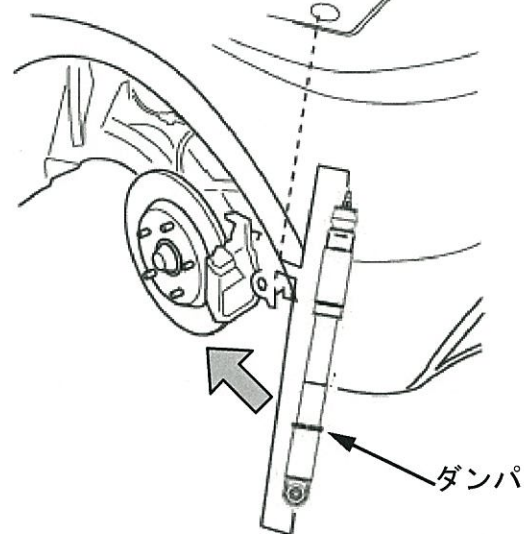
- ③ 上からアップ マウンティング ラバー、ハイトアジャスター、リヤ スプリングの順にセットしロア スプリング シートの位置決め穴にロア マウンティング ラバーの突起部を合わせて取付ける。

※リヤ アクスル ビームにロア マウンティング ラバーの突起が確実にはめ込まれていることを確認すること。

※取付け後、ラバー、ストッパ及び他のゴム部分がスプリングにかみ込まれていないことを確認すること。

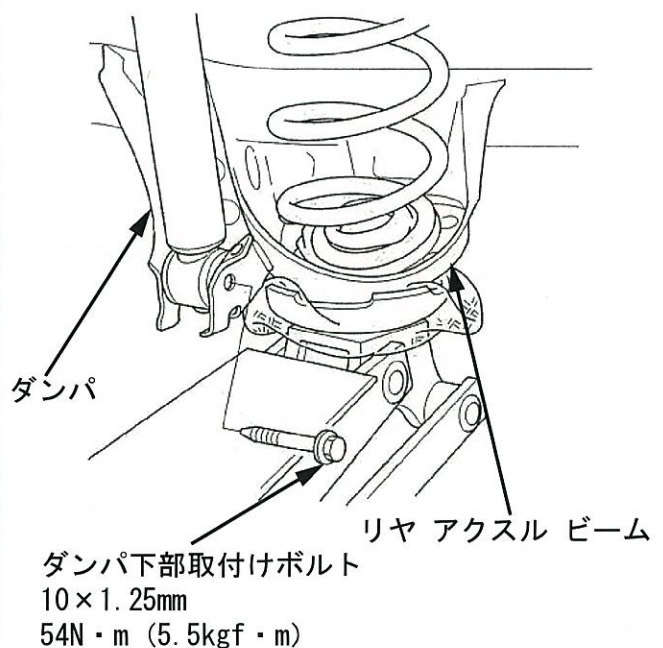


- ④ ダンパ上部を車体に差込み、ダンパ下部をリア アクスル ビームのダンパ取付け位置に置く。

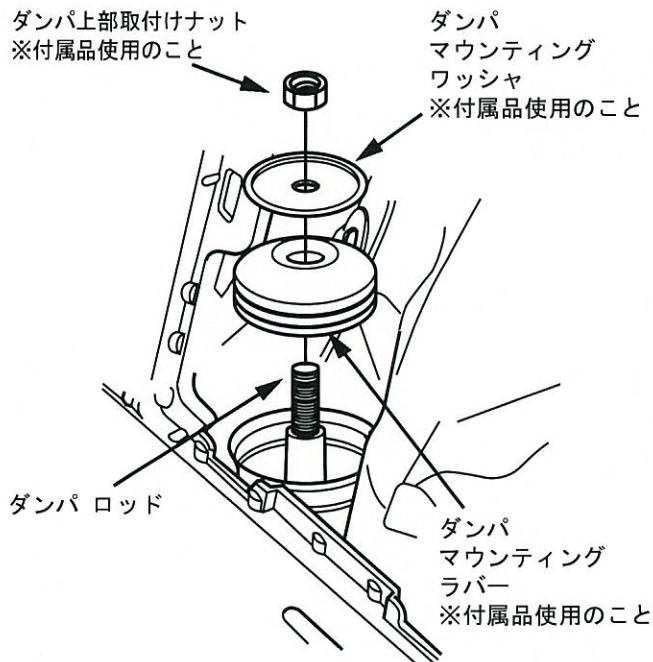


- ⑤ リヤ アクスル ビームの下にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンションを支える。

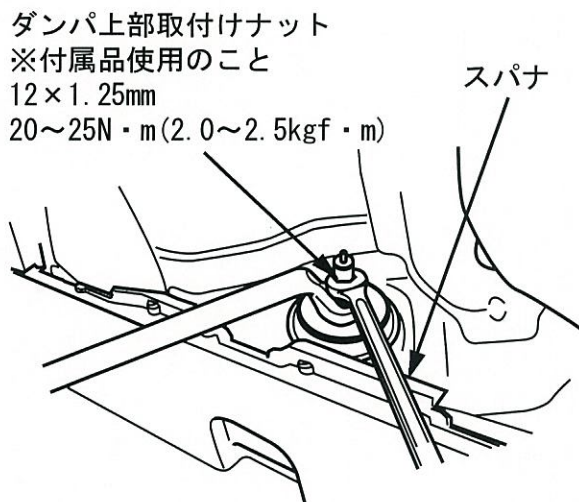
- ⑥ ダンパをリア アクスル ビームに接続し、ダンパ下部取付けボルトを仮締めする。
※スプリングがスプリング シートに正しく取付いている事を確認する。



- ⑦ジャッキでサスペンションを持ち上げて車重をかけ、室内側からダンパ ロッドにダンパ マウンティング ラバー、ダンパ マウンティング ワッシャ、付属のダンパ上部取付けナットを取付ける。
※ワッシャとラバーは取付け方向に注意する。

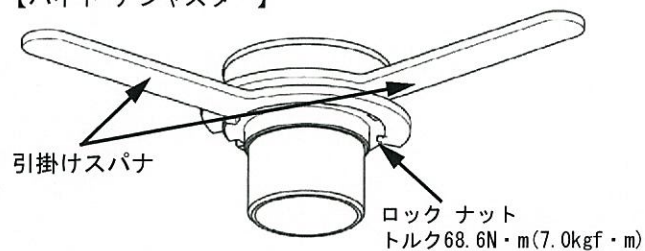


- ⑧モンキースパナ等でダンパ ロッドを固定し、下図の様に付属品のダンパ上部取付けナットを規定トルクで締付ける。
※ダンパ ロッドを保持する際は、締付けトルクに注意し、ネジ山を傷つけないよう注意すること。

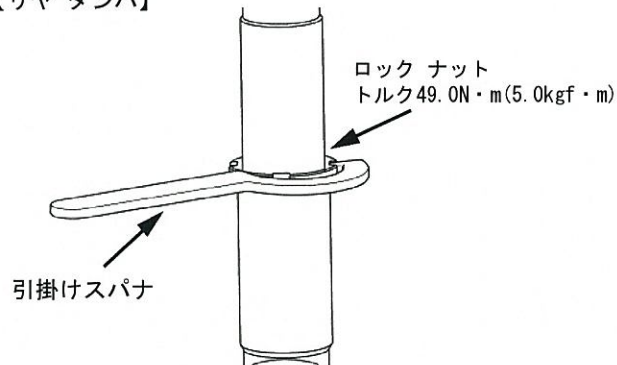


- ⑨緩み防止の為、付属の10mmナットをダンパ上部に取付け、ダブルナットで締付ける。
※締付けトルク 25~29N・m(2.5~3.0kgf・m)
- ⑩ダンパ下部取付けボルトを規定トルクで締付ける。
- ⑪ハイトアジャスターおよびリヤ ダンパのロックナットを規定トルクで締付ける。
※締付トルクを計測出来ない場合、スパナでナットを軽く締付け、その位置からロック ナットを更に5mm締付ける。

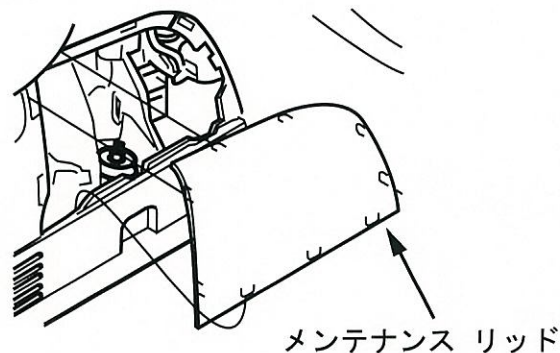
【ハイト アジャスター】



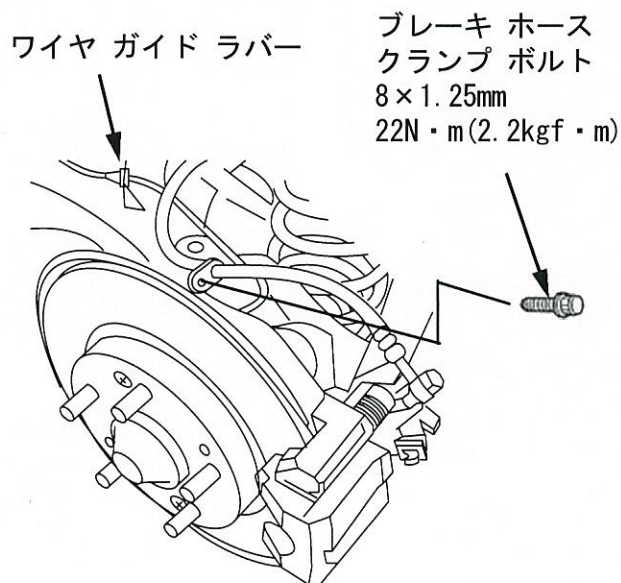
【リヤ ダンパ】



- ⑫ダンパ メンテナンス リッドを室内のカーゴサイドライニングに取付ける。



- ⑬ホイール センサのワイヤ ガイド ラバーとブレーキ ホース クランプ ボルトを取付け、ボルトを規定トルクで締付ける。



- ⑭ディスチャージ ヘッドライト装備車は、サービス マニュアルに従ってヘッドライト レベリング センサをリヤ アクスル ビームに接続する。

【Ⅲ. 組込み後の注意】

- ①各部を点検し、ホイールを取付ける。
- ②車体を着地させ、ホイール ナットを規定トルクで締め付ける。
※ホイール ナット トルク 108N・m (11.0kgf・m)
※本製品組み込み後は、STDサスペンション組込み時よりも車高が下がるので、ジャッキをおろす際は十分注意すること。
- ③ホイール アライメントを点検し、必要な場合は調整をする。

参考 アライメント基準値

	キャンバー(°)	キャスター(°)	トータルトー(mm)
前輪	-2° 00' ±1°	3° 20' ±1°	イン 0 ±3
後輪	-1° 30' ±1°		イン 3 ±3

【本製品の特長】

- ・ STDに対し-40mmまでの車高ダウンが可能な車高調整機構
- ・ ストリートからサーキットまでをカバーする前後32段階減衰力調整機構
- ・ スポーツ走行時の減衰力特性を重視し、フロント/リヤ共にφ40大径ピストン採用のシングルチューブ構造を採用
- ・ ダンパー内部に新規設計のニードルを採用し、スポーツ走行時の微細なセッティングを可能にしながら、一般道走行までカバーする幅広い減衰力可変特性
- ・ 高フリクション特性の新規ダンパーオイルの採用
- ・ コーナリング時の剛性の向上を目的に、フロントサスペンションに倒立式構造の採用
- ・ イニシャルキャンバー角を-2.0° に設定した事で直進性・ブレーキング性能への影響を最小限に抑えつつコーナリング性能を向上
- ・ ダンパーケース部分に防錆・防食性能に優れた特殊表面処理を行い、長期使用時の耐久性を向上。

減衰力・車高調整について

- ・本製品は走行状況に応じて特性を変えられる32段階の減衰力調整機能を有しております。その為、下記を参照し付属の減衰力調整ツールを用いて調整を行って下さい。調整の際は前後同段数を基準にお好みに合わせてセッティングを行って下さい。

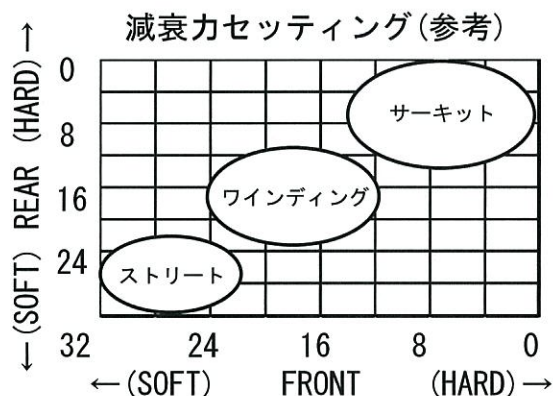
※出荷時は32/32(最弱)になっております。

- ・減衰力調整時は付属のツールを用いて無理の無い力でクリック感を感じる最も締切った位置から戻したクリック段数を減衰力位置とします。

※無理にダイヤルを締め込むと内部部品が破損し、作動しなくなる場合があります。

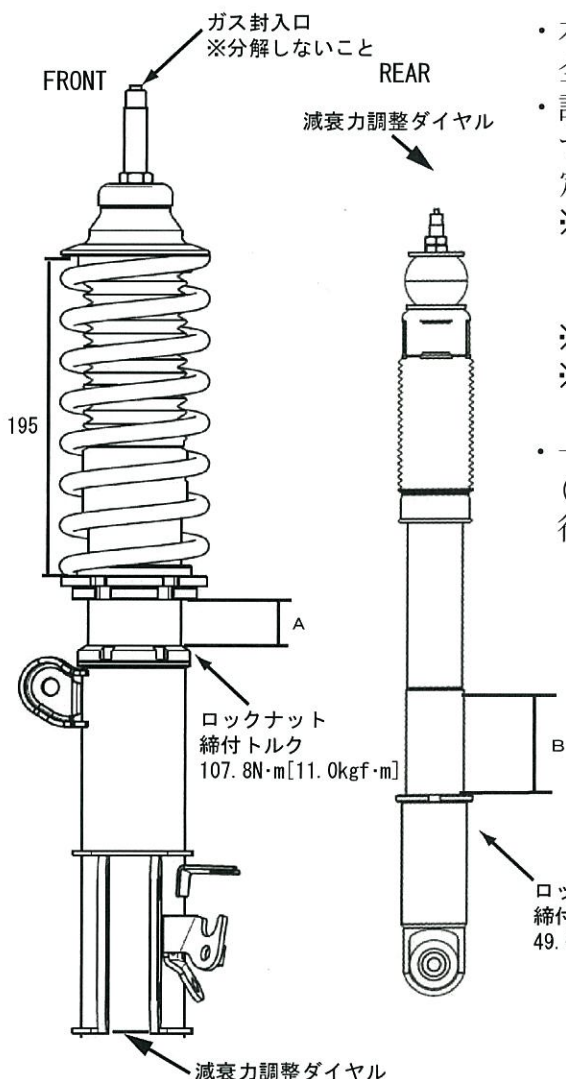
※締め込みから32段階以上ダイヤル部分を緩める方向に回転させないで下さい。

注意 フロント上部のキャップボルトは高圧ガス封入口の為、絶対に緩めないこと。ガス漏れによる作動不良やガス噴出による怪我をします恐れがあります。



減衰力変化率(STD比[%])

	減衰力位置	ピストンスピード	
		0.05m/s	0.3m/s
FRONT	0/32	433/76	342/84
	16/32	255/66	291/80
	32/32	57/51	238/73
REAR	0/32	157/163	273/157
	16/32	83/136	238/149
	32/32	46/175	189/134

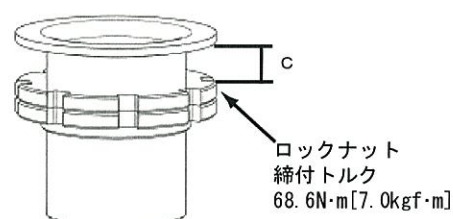


- ・本製品は、STDに対し+20~-40mmの車高が調整可能な全長調整式車高調整機構を備えています。
- ・調整の際は、市販の引掛けスパナなどを用いてロックナットを緩め、下記寸法を参考に調整ののち、必ず規定トルクで締付けを行ってください。
- ※車高調整の際は車体をジャッキアップし、リジッドラック等を用いて安全な状態で作業を開始してください。
- ※出荷時は-20mmに設定されています。
- ※車高を-15mm以上に設定した場合、フロント減衰力調整が行いにくくなる場合があります。
- ・一般公道を走行する際は「保安基準に関する注意」(本書P3)を参照し、保安基準に適合する状態で運行を行ってください。

車高調整時組立て寸法表(参考)

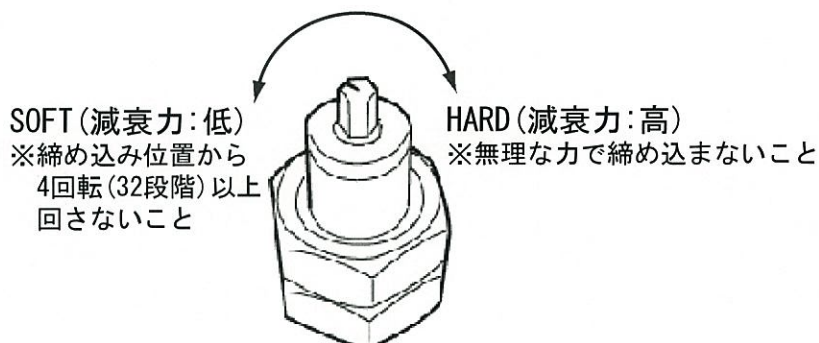
車高変化量(STD比)	20	0	-20(出荷時)	-40
A	68	48	28	8
B	88	88	88	65
C	61	43	25	5

SPG ADJUSTER



⚠ 使用上の注意

- ・ヘッドライトオートレベリングシステムについて
ディスチャージヘッドライト装着車には、車両の姿勢変化に応じて自動的にヘッドライトの光軸を最適化するオートレベリング機構が備わっています。本製品の組込みおよび車高を調整した場合は、専用機材のあるホンダディーラー等でヘッドライト初期位置学習を行ってください（本田技研工業㈱発行サービスマニュアル参照）。
この作業を行わないとヘッドライトの照射範囲が変わり夜間走行時の視界が十分確保出来ない場合があります。
- ・減衰力調整時はダイヤルの締め込み過ぎ、緩めすぎによる破損に充分注意してください。



- ・減衰力調整時は左右必ず同じ段数で調整を行ってください。
- ・設定値以上に車高を高めた場合、フロント ダンパの減衰力調整ダイヤルがブラケット奥に移動する為、減衰力調整が行いにくくなる場合があります。予めご了承ください。
- ・取り付け直後は極端な悪路での走行や急激な運転操作をさせて慣らし運転をし、異音 やガタつきがないことを確認してください。（100～300kmを目安に一般道で慣らし走行することで各部を馴染ませ、より安定した性能を維持することができます。）
- ・定期的にボルト、ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認して下さい。
※車高調整式サスペンションはロックナット部分の緩みが異音等に繋がる可能性が高い為、一般的な純正形状サスペンションよりも頻繁に点検を行ってください。
- ・本製品は純正品に比べスポーツ走行を意識したセッティングの為下記のような音が出る場合がありますが異常ではありません。
ゴムがこすれるような「ギュッ、ギュッ」音・・・本製品はローダウン設計のヤスプリングの線間密着音を防止する為のラバーチューブがスプリングに巻いてあります。走行時このゴム同士がこすれる事で音が出る場合がありますが仕様上のものであり、異常ではありません。

- ・本製品は補修用として、ダンパASSY単位での購入が可能です。お買い求めの際はお近くのホンダディーラーもしくは無限製品取扱店にご相談下さい。
- ・商品の管理には万全を期しておりますが、万が一問題が発生した場合は下記にご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121 【営業時間 10:00～17:00(土日・祝日除く)】